

畜産とくづく情報

平成 20 年 7 月 8 日 (第 89 号)
問い合わせ先
長野県農政部園芸畜産課
電話:026-235-7232、Fax:026-232-0764

暑熱対策



暑い夏 到来間近！

関東甲信地方の 3 ヶ月予報
(6 月 25 日気象庁発表)

- 7 月 晴れの日が多い
- 8 月 晴れの日が多く、気温は平年並または高い確率がともに 40%
- 9 月 晴れの日が多く、気温は高い確率が 50%

対策のポイント

畜舎の対策

直射日光

畜舎の周囲（特に、南面、西面）に落葉樹を植えて日陰を作ったり、ヨシズを張るなどして、畜舎に射し込む直射日光をできるだけ遮る。

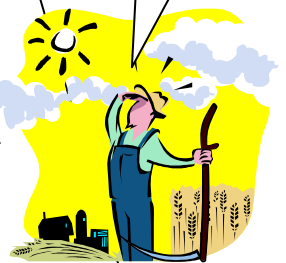
換 気

天窗、地窓、側面の全面開放、ダクト送風及び扇風機送風などにより、換気を十分に行う。

そ の 他

太陽が直接当たる屋根への対策も効果的です。
屋根への散水の他、屋根に石灰乳を塗布する、反射シートで覆うことにより、日光を反射して畜舎内の温度上昇を抑えられます。

暑熱対策
再点検！



家畜の対策

給 餌

できるだけ涼しい時間帯に給与するとともに、給与回数を増やすようにする。嗜好性の良い飼料を与える。
また、飼料の変敗(カビ発生・腐敗)に注意する。

給 水

冷たくて新鮮な水がいつも飲めるようにしておく。

散 水

畜体への細霧噴霧は有効ですが、換気が悪い場合や湿度が 60% 以上の時は逆効果です。

密 度

密飼防止 暑さ対策だけでなく、家畜の「イライラ」も防げます。

そ の 他

交配や移動は涼しい時間帯に行う。
分娩は、ゆったりできる分娩舎を利用する。



なお、畜舎の立地条件、家畜の種類等によって、具体的な対策は変わってきますので、不明な点があれば、家畜保健衛生所へお問い合わせください。

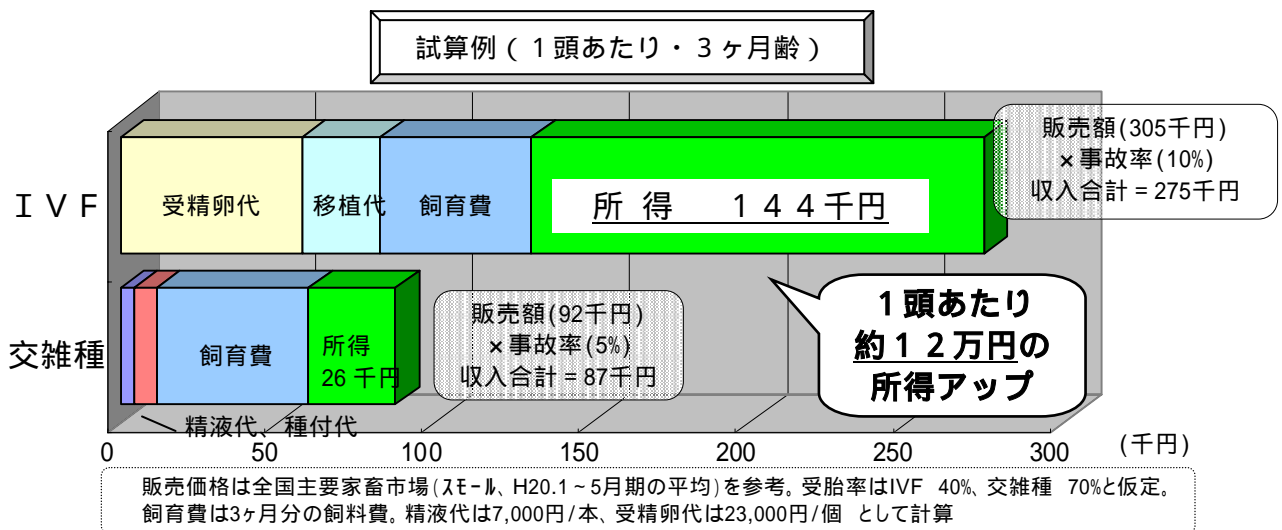
動物用医薬品、抗菌性飼料添加剤等は正しく使用し、記録しましょう

24 か月齢以上の死亡牛は BSE 検査を受け、死体は適切に処理しましょう

E T を活用した和子牛生産で経営にプラス

酪農経営等で、従来の交雑種生産にかわり、受精卵移植（E T）技術を活用した付加価値の高い和子牛を生産する取り組みを！！

県では、畜産試験場をはじめ、全農E Tセンター、(社)家畜改良事業団の協力により、体内受精卵・体外受精卵（IVF）の安定した生産供給体制を確保するとともに、哺育育成技術指導、市場出荷体制の構築を推進します。



お知らせ：8月5日(火) 畜産試験場でET和子牛哺育育成技術研修会を開催予定です。詳細については、地方事務所、家畜保健衛生所、園芸畜産課へお問い合わせください。



密閉式施設等での酸素欠乏事故に御注意ください！

昨年夏に近隣の県で、汚水貯留槽で作業中の酪農家親子が酸素欠乏で死亡する事故がありました。このような汚水貯留槽、堆肥化施設、タンク、マンホール、サイロ等の密閉式施設は、酸素欠乏の危険性が高いことから、施設労働安全衛生法でも「酸素欠乏危険箇所」とされています。

気温が上昇する夏季は特に酸素欠乏の危険性が高まります。作業に当たっては、換気、安全帯や避難用具の常備、施設外で作業者の待機などに留意してください。

また、県内でも農作業に係わる死亡事故が発生しています。機械や火気の取り扱いには、十分注意をはらってください。

今後も安全で生産性の高い作業をしていただくようお願いします。

